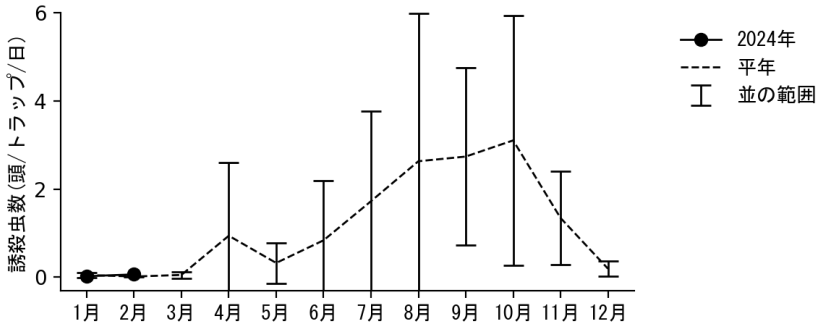
令和　5 年度　　3 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | チャノキイロアザミウマ | | | |
| 調査結果 | 2 月の発生量（平年比） | 多 | | |
| 予　報 | 2 月からの増減傾向 | → | | |
| | 3 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（→） | | |

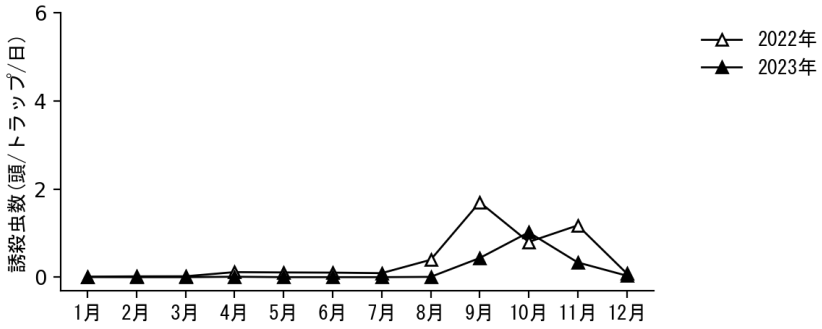
調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移

＜今期と平年＞




＜過去２年＞




・発生施設率75.0%（平年：52.5%）

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

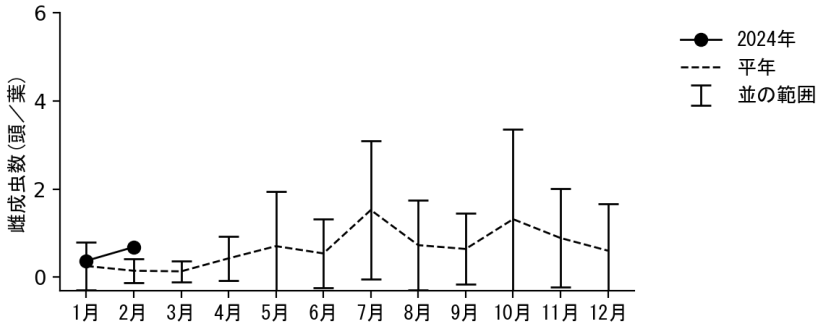
令和　5 年度　　3 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① ハダニ類 | | シュレイツメハダニ | |
| 調査結果 | 2 月の発生量（平年比） | やや多 | | |
| 予報 | 2 月からの増減傾向 | → | | |
| | 3 月の発生量（平年比） | やや多 | | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（→） | | |

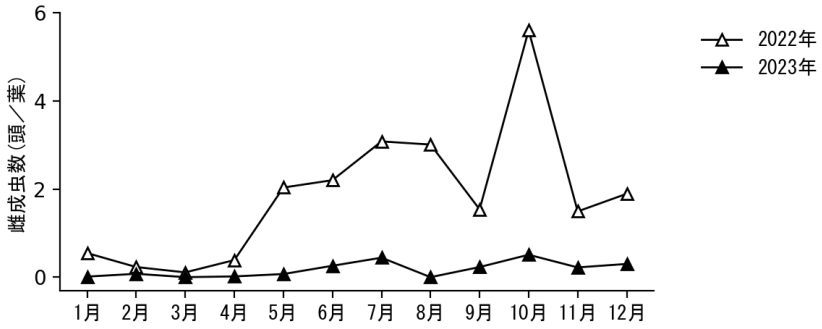
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞




＜過去２年＞




・発生種：マンゴーツメハダニ

・発生施設率37.5%（平年：17.3%）　一部施設で多発

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ